

これからの県政

まちもひとも

**元気ハツラツ!!**

まちづくり行動派宣言

笹川ひろよし後援会

〒373-0818 群馬県太田市小舞木町270-1  
TEL.0276-46-7424 FAX.0276-49-2367  
ホームページアドレス <http://www.sasagawa-hiriyoshi.com/>



目指すは 暮らしの 育るが 安心 暮らす 育るが 安心

県政は市民生活において、身近な存在です。たとえば、市民の安全についての治安、教育、福祉、産業支援、地域づくりなど市単独ではできない問題に取り組んでいます。私は今後の政治活動について自分自身真剣に悩み考え、多くの皆さんのご助言を頂きながら「どうしたら故郷太田、お世話になった皆様へ、お役に立てることが出来るのか」を考え、決意したのです。まちに夢と希望が満ちあふれ、そこに住む皆様に笑顔があふれてくる県政をめざします。笑顔がまちの元気の素であります。まちの元気が県の元気であり、そして日本の元気につながるからです。「暮らしの安心、育てる安心、学ぶ安心」の環境づくり、に全力を傾け、活動していきます。

県政に若い力を!

私、笹川ひろよしは、このたび政治活動の力点を国政から地方政治に改め、県政にたずさわること。今後の目標として活動していくことを決意しました。

今まで、ひたすら国政を志して参りましたが、町内会の行事や清掃活動、地域の一員としてボランティアに参加し、人との出会いと交流を通じて様々な角度から政治と人の生活とのかかわりを知ることができました。

少子高齢化、病院・医療などを巡り深刻な問題で困っている人がたくさんおられること、労働雇用・就職の厳しい状況、経済の課題、親の立場から安全に暮らせる治安の対策、食育の必要性、自然環境の取り巻く変化、輸入農作物・食品問題等を目の当たりにし太田市に拠点を置き、自分たちの暮らし

治安の強化

「より豊かな、元気あふれるまちづくり」を推進するには、安心して暮らせる社会が前提です。最近の傾向をみると犯罪は多様化し、凶悪化しています。治安の強化を図るべきです。

そのためには、犯罪を未然に防ぐ努力が必要です。パトロールの強化や地域の連携をはじめ、警察

官増強が課題です。効率的な再配置計画、犯罪抑止のための街灯事業の充実です。また、パトロールや相談業務の対応を図るには、やはり経験のある人が最適です。私は警察官OBや自衛官OBに協力をお願いして、明るく安全なまちづくりへ積極的な参加をして頂ければと考えます。

さらに、太田市は交通事故死亡事故が多発しています。交通事故防止の啓蒙活動の充実とともに、交通危険箇所(交差点等)の整備改善が急務だと思っています。



す身近なところから「地域のお役に立ちたい」との思いが強くなりました。改めて、地域の人たちで支え合う社会の大切さを実生活で痛感しました。

数年前、「睡る大捜査線」という映画で話題にありました。「事件は現場で起こっているんだ」というフレーズが印象的で、私は政治も同じことが言えると思いました。「政治は現場で起きているのだ」と。いくら机上で対策を練っても、現場の生の声と現実を直視しなければ、人の幸せのために、働くことなどできません。

私に出来る事は、これまで活動してきた政治、企業活動、ボランティア、保護者会などを通して得た経験を生かし、不安感のない安心のまちづくりに取り組むことであります。そして、夢と希望あふれるまちづくりの大きな役割が、県政に存在するものと考えており

太田市政と群馬県政がガッチリスクラム

県政は、私たちが生活する上で、本来は近い存在です。(もっとも近い存在にしなければなりません)。

市民の安全についての治安、教育、福祉、産業支援、地域づくりなど市単独ではできない問題に取り組んでいるのです。

より県政の役割を明確にし、太田市行政と連携を図りながら事業を展開していくべきです。とくに、治安ならびに学校教育は、県政との関係が深く、スムーズな運営が必要で、教師の採用や配置についても、県教育委員会が深く関係しています。地域の特色と安心の教育を推進するには、市と県の情報交換ができる組織が必要だと思っています。

# 「物で栄えて心で滅びる」

## 社会にならないように



戦後、日本は、物質文明と学歴重視で推移したため、社会構造が歪んでしまったような気がします。倫理観や道徳が家庭においても学校も地域も軽視されてきました。人は、誰一人、一人では存在しないのです。健康な身体は、両親や先祖の方々からの大切な贈り物であり、空気を自然も、人間の力ではどうにもならない、貴重な存在なのです。

このことに気が着いた先人の智恵が、感謝することや誠実に生きる大切さ、謙虚さなどの精神文化を育てたのだと思います。「おはよう」にしても、「あとかたづけ」にしても、「約束を守る」にしても家庭での「しつけ」は、社会の基本的なルールでもありません。人間同士が助け合い、慈しみあい、ゆずりあうことで、豊かなつながりが生まれるのです。「物で栄えて、心で滅びる」社会になってはならない、と父は教えてくれました。

私も「将来は子供たちのもの、お預かりしている美しいふるさとをより良くし次世代へ受け渡し、子供たちに大きな夢・希望を抱くこと、出来る社会を創ろう」との思っています。少子化という言葉をよく耳にします。この問題は、今後の高齢化に伴う社会保障制度をはじめ、大かされます。やはり男親とはちがった視線をもってます。私もそういった貴重な意見を参考にしたいと思っています。

### 子を持つ親の立場から

子どもの教育については、私も三人の子をもつ親として子育てを見守っています。「人を大切に思う心が、礼儀となり社会秩序の基となる」という言葉があります。私も、常に「他人の立場にたって行動できる」子どもに育てたいと思っています。

妻の純美代(岡田工業(株)・旧姓岡田・太田市藤久良町出身)

なりの子育て方針があります。それは、「幼いうちから、して良いことと、悪いこと、善悪の基準を正しく教えること。社会のルールやマナー等大切なことをきちんとしなければならぬ」ということ。家庭の中でも、やはり子育ての話題が多くなりま

す。また、主婦の立場から、政治に対してのきびしい意見も聞かれます。やはり男親とはちがった視線をもってます。私もそういった貴重な意見を参考にしたいと思っています。

自ら考え、行動に移せるような子どもたちに、育てたい。できれば、積極的に社会奉仕に参加できる子に。そして、郷土に誇りをもてるような子に。この

思いは、すべての子どもに對しても同じです。政治活動の中で、そういった子どもの育成ができればいいと思っています。

### 少子化対策

## お母さん支援隊を提案します

都市圏以外の過疎化、国を支える人的要素、教育行政にかかわるさまざまな問題に連結しています。しかしながら、ここ数年の変化を見ても少子化が進んでいます。一九九七年の合計特殊出生率(二人の女性が生涯に生む子どもの数は一・三九人と予想されています)。

こういった状況に歯止めをかけるには地方政治によるところが大きいと思います。その一つが子育て支援であり、働く女性が増えることに対応する新しいシステムの早期の確立です。私は「お母さん支援隊の創設」を提案します。支援隊の資格は、群馬県認定とします。子育てや教育などの情報の交流と相談業務の拡大、家庭内のト



性のライフスタイルに合わせた支援も組み入れたいですね。女性が社会進出する場合、勤労と育児を両立できるような社会環境をつくる必要があります。女性の皆様の声を聞かせていただきながら、進めなければならぬと痛感しています。

人が六十五歳以上という超高齢化社会になるといわれています。その反面、少子化が進み〇歳から十四歳までの年少人口は減少しつづけています。このバランスは六十五歳未満で、働き盛りの勤労者に負担が重くのしかかっています。行政としても、これまでの福祉行政では対応しきれなくなりました。長寿社会は要介護者人口を生みます。が、核家族や人口の都市集中で、独り暮らしのお年寄りも増加し、お年寄りのお世話をする人が少なくなっています。

そういった背景で、公的介護保険が二〇〇六年四月からスタートを切りました。これも、保険料を支払う人口があつてこそ成り立つものです。現在の少子化対策を推進していかなければ、将来の勤労人口は減少するばかりであり、さらなる財政負担は免れません。また、日本の経済を支えてきた中小企業にとつても依然として厳しい状況にあります。食の安全も脅かされています。政治の責任は非常に重いのです。山積する諸問題解決に向けて行動あるのみです。

# 女性の社会進出と育児を応援

超高齢化時代と少子化問題は、大きな関係をもつて、二十一世紀の課題として大きく立ちほだかつているのです。五十年後の日本社会は三人に一人が六十五歳以上という超高齢化社会になるといわれています。その反面、少子化が進み〇歳から十四歳までの年少人口は減少しつづけています。このバランスは六十五歳未満で、働き盛りの勤労者に負担が重くのしかかっています。行政としても、これまでの福祉行政では対応しきれなくなりました。長寿社会は要介護者人口を生みます。が、核家族や人口の都市集中で、独り暮らしのお年寄りも増加し、お年寄りのお世話をする人が少なくなっています。



# 人が訪れる まちづくりへ



## 新田氏や徳川家

## 飛行機王の中島知久平翁

## 魅力いっぱいのは太田

人が訪れるまちづくりを推進します。合併して地域が広がった太田市。観光の素材が拡大しました。すばらしい歴史の遺産が点在しています。これを活用することです。

新田地区には、新田義貞をはじめ新田一門が旗揚げした地、生品神社があり、毎年五月になると、この境内で、鎧矢祭が開催されています。新田氏に關係した反町館跡も立派で、木崎音頭や赤堀の獅子舞など伝統芸能も伝えられています。

薮塚地区には、薮塚温泉郷や三日月村や西山古墳、北山古墳などがあり、尾島地区には、徳川の里として、東照宮、東毛歴史資料館、歴史と由緒のある長楽寺などがあり、夏には、上州ねぶた祭りが盛り上がりがあります。また、飛行機王、故中島知久平翁の生誕地でもあります。

太田地区は、太田市のシンボル金山をはじめ、整備が進められた金山城跡、裾野には、金龍寺や子

育て呑龍で親しまれている大光院、天神山古墳、高山彦九郎宅跡、遺塚や記念館などがあり、春夏秋冬を通じて様々な表情をみせてくれます。

歴史と自然に恵まれた新太田市を全国へアピールするための事業を展開したいと思えます。群馬県は観光立国といながらも、東毛地域のPRはすくないのではないかと。こういった歴史の遺産のネットワークを図りながら、現在ある観光資源生かしたまちづくりを推進したいです。

同時に地域の物産の開発支援や農産物のブランド化への支援を行います。



いたいと思っています。また、食文化の向上を図るイベントも実施して、他都市から見ても魅力ある太田市にしたいものです。

## 交通網の整備を

観光の振興に欠かせないのが公共交通ネットワークを確立することです。太田市には北関東自動車道が通ります。早急にアクセス道路の整備と関連した一般道の整備を推進し東武線とJR熊谷線の乗り入れを推進します。

各観光施設を結ぶ円滑な交通網が必要不可欠なものです。人が集えば、消費は伸びます。中心市街地や地域の商店街に活気が生まれます。太田市に住みたくなるような環境づくり。

ここ太田市は日照時間も多く、地震や水害の被害の少ない地域です。自然環境面で、全国でも有数の安全安心の都市でもあります。また、産業も



元気があります。この利点を活用し、企業誘致を推進するといのではないかと思います。企業が増えれば、就業機会の拡大につながり、人口も増え、住宅地も増加、財政的にも豊かになるはずですよ。

## 指導者の民間登用 クラブ活動の推進

一方、人と人が交われば、文化やスポーツが発展します。スポーツ少年団の振興とともに子どもたちの文化団体の支援も実施したい。

教育の現場では、もつとクラブ活動を推進することです。青少年の健全育成のためにも必要です。学校における指導者については、民間人の登用拡充を図りたいと思っています。また、生涯学習の機会の拡大も図ります。

## 農産物のブランド化と

## 積極的な観光PR

## 太田の観光資源を生こう

# 企業誘致と就労の機会の拡大

### ◇笹川ひろよしプロフィール◇

▼生年月日  
昭和41年8月29日(40歳)  
自宅/太田市小舞木町270-2  
▼現職・所属会員・他  
群馬県空手道連盟顧問  
太田市吟詩舞道連合会顧問  
新田郡野球連盟顧問(～2006)  
太田ボーイズ(少年硬式野球)顧問  
上州ねぶた会名誉会長  
九合小PTA副会長

ひかり幼稚園 保護者会 副会長  
太田市青少年センター 補導員  
社会福祉法人 三児福祉会 理事  
社会福祉法人 親孝行の里 評議員  
第14回全国都市緑化まつりフェア  
おた会場 市民委員会 委員  
2005年太田市長選公開討論会 実行委員会 委員  
(社)太田青年会議所 会員(～2006)  
太田商工会議所 青年部 会員  
太田ロータリークラブ 会員  
エフエム太郎 番組審議会委員(2005～06)  
自民党群馬県自動車産業振興支部 支部長

ヤマト発動機株式会社 代表取締役  
▼趣味 映画観賞、ガーデニング、読書  
▼家族 妻・純美代(藤久良町出身)、長男・博矢(九合小)、長女・聖華(ひかり幼稚園)、次女・結加(同)の五人家族  
▼好きな言葉 兼愛非攻

笹川ひろよし後援会事務所  
〒373-0818群馬県太田市小舞木町270-1  
TEL.0276-46-7424  
FAX.0276-49-2367

まちもひと元気ハツラツ!!

# 緊急医療センター (脳・心臓・小児医療など)を提案します

## 税金のムダづかいをしっかりと監視します

■かけがえない生命の尊重。緊急医療センターの建設。

地域住民の健康を守り、より質の高い保健医療サービスの提供と良質な保健医療福祉サービスを受けられる環境づくりが必要です。とくに、医療は、時間との戦いです。救急患者の対応処置によって生死を分ける場合もあります。このため、県立の「緊急医療センター」の設置を提言していきたい。なかでも小児集中治療室の整備を

### 企業経験を 生かし

■財源の効率的運用と税のムダづかいに対する監視の強化。

最近、問題となっている「裏金づくり」やカラ出張、休暇の問題等行政にたずさわる人たちの犯罪が明らかにされています。大切な

### なおい層の 情報公開!

■情報公開の充実と県立公文書図書館の誘致。

### 共に汗を流した

#### 笹川君に期待

後援会会長 栗原善太郎



皆様、こんにちは。

私、栗原は、平成十八年十二月に開催されました後援会役員総会において、後援会長に推挙され、就任することになりました。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

笹川ひろよし君とは、ボラン

### 後援会最高顧問 福田作三

笹川ひろよし君とは、地域の

### 社会福祉の心を基に 市民の声を 県政に生かせ

今、地域政治に目を向け、そこに住む人たちとひざを交えて、語り合い、指導を受けながら成長を続けています。



ティアで公園づくりをする「天神公園リメイク事業」や「百万株芝桜事業」などに参加して、一緒に汗を流した仲です。私は彼の行動力、そして元気に働く姿を見て、彼なら私たちと同じ目線で政治活動をしてくれる、と確信いたしました。厳しい戦いになると思いますが、皆様方の熱い御支援とご協力を心よりお願いいたします。(太田NPO支援センター理事、災害ボランティアネットワーク太田座長、全国都市緑化フェア太田会場市民委員会委員長)

発展、福祉の向上、よりよいまちづくりのために一緒に働いてきた同志でもあります。今、地域政治に目を向け、そこに住む人たちとひざを交えて、語り合い、指導を受けながら成長を続けています。今、彼が経験してきたことを生かし、幅広い視野に立つて活動ができる笹川ひろよしの行動力に心から期待します。(三晃福祉会理事長・元群馬県議会議長)

## 健康づくりと予防医学 お年寄りや障がい者支援 人にやさしく住みやすいまちへ

健康対策は、重大な関心事で



まず、健康なまちづくりのための予防医学の充実です。また、元氣なお年寄りに、社会参加の機会をつくり、積極的にまちづくりに参画してもらおうこと。お年寄りが歩んできた歴史を子どもたちに伝承する場をつくりたい。

■高齢者や障がいをもつ方への環境整備も必要です。弱い立場のひとたちが安心して生活ができる暮らしやすい環境整備の推進です。介護の必要な方のための支援の充実を是非とも実現したいと思っています。ボランティア活動を推進するとともに、各種団体の連携を図るための機能を高めていきたい。「政治は弱い立場の人のためにある」ことを胆に命じて。



私の好きな言葉に「兼愛非攻」があります。これも墨翟の言葉です。親兄弟、一般の人でも差別なく接する大切さが、この言葉に込められているのです。大切なことは、真心と教えています。政治の世界でも大切なことだと、思っています。平成十九年 笹川ひろよし

## 編集後記

県政に対する私・笹川ひろよしの考えの一端を述べさせていただきました。いかがでしたか。

私は常に「誰のために政治があるのか」を考えて、行動してきましたが、この間、たくさんの人たちの出会いに恵まれました。人々の暮らしに密着した活動を通じて、改めて地方政治の役割の大きさに気づき住民の皆様、直接反映される県政で、お役に立ちたいと思っています。誠心誠意励むつもりです。

「一人は万民のために、万民は一人のために」という墨翟(ぼく)の言葉があります。中国戦国時代の思想家です。兼愛、非攻、非命、実利主義をその思想体系の軸においた人でもあります。専制政治に対抗して、汗水たらして働くことを尊び、人を憎み、人に不利益を与える行為を嫌ったひとです。